# 愛農学園農業高等学校
# 女子研修宿泊施設新築工事

# 現地見学会説明資料

2025.05.20

# 説明会の進行について

- 計画の概要と設計方針についての説明（～20分）

- 参加者からの質疑（～10分）

  質疑内容及び回答については質疑書に取りまとめ後日回答書を作成しHPに掲載する。

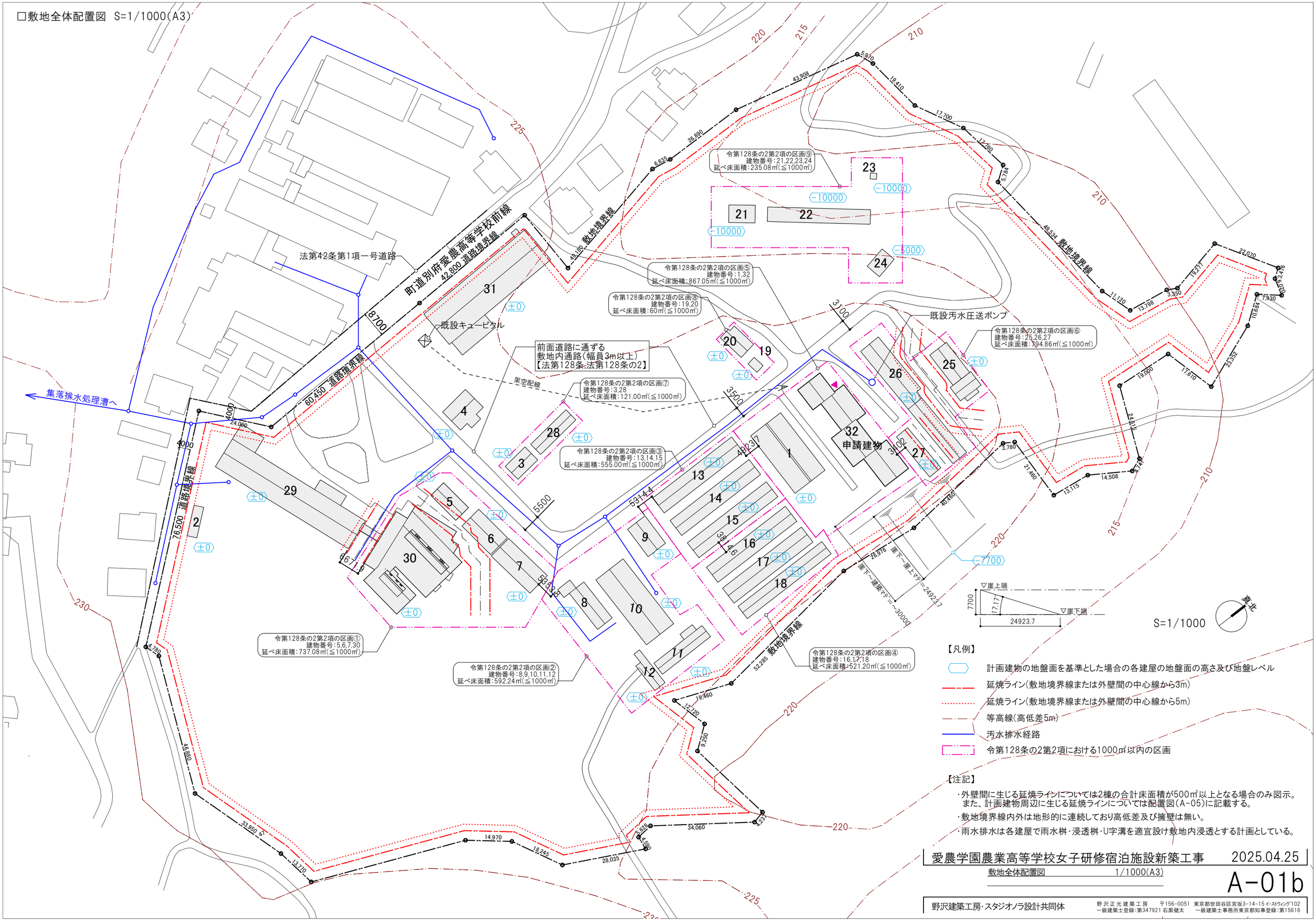
- 現地見学（～20分）

# 経緯・計画概要

- 女子生徒の生活環境の改善
- 女子生徒の入学受け入れ人数の増員
  →現女子寮の南側の敷地に女子研修宿泊施設を新設
  （現女子寮は解体せず別用途で継続利用）

- 木造二階建てを4棟雁行して連結させる構成
- 管理棟には寮監家族が在住する
- 居住人数は寮生36人＋寮監家族4人程度
- 3人一部屋で9人（3部屋）ユニットとしそれぞれに水廻り
- 主要用途/設備
  調理研修室（家庭用ガスコンロ×3,家庭用オーブン×3)、在来浴室（シャワー,カラン×4)、太陽熱給湯など

□敷地全体配置図 S=1/1000(A3)




【凡例】

- 計画建物の地盤面を基準とした場合の各建屋の地盤面の高さ及び地盤レベル
- 延焼ライン(敷地境界線または外壁間の中心線から3m)
- 延焼ライン(敷地境界線または外壁間の中心線から5m)
- 等高線(高低差5m)
- 汚水排水経路
- 令第128条の2第2項における1000㎡以内の区画

【注記】

・外壁間に生じる延焼ラインについては2棟の合計床面積が500㎡以上となる場合のみ図示。
また、計画建物周辺に生じる延焼ラインについては配置図(A-05)に記載する。

・敷地境界線内外は地形的に連続しており高低差及び擁壁は無い。

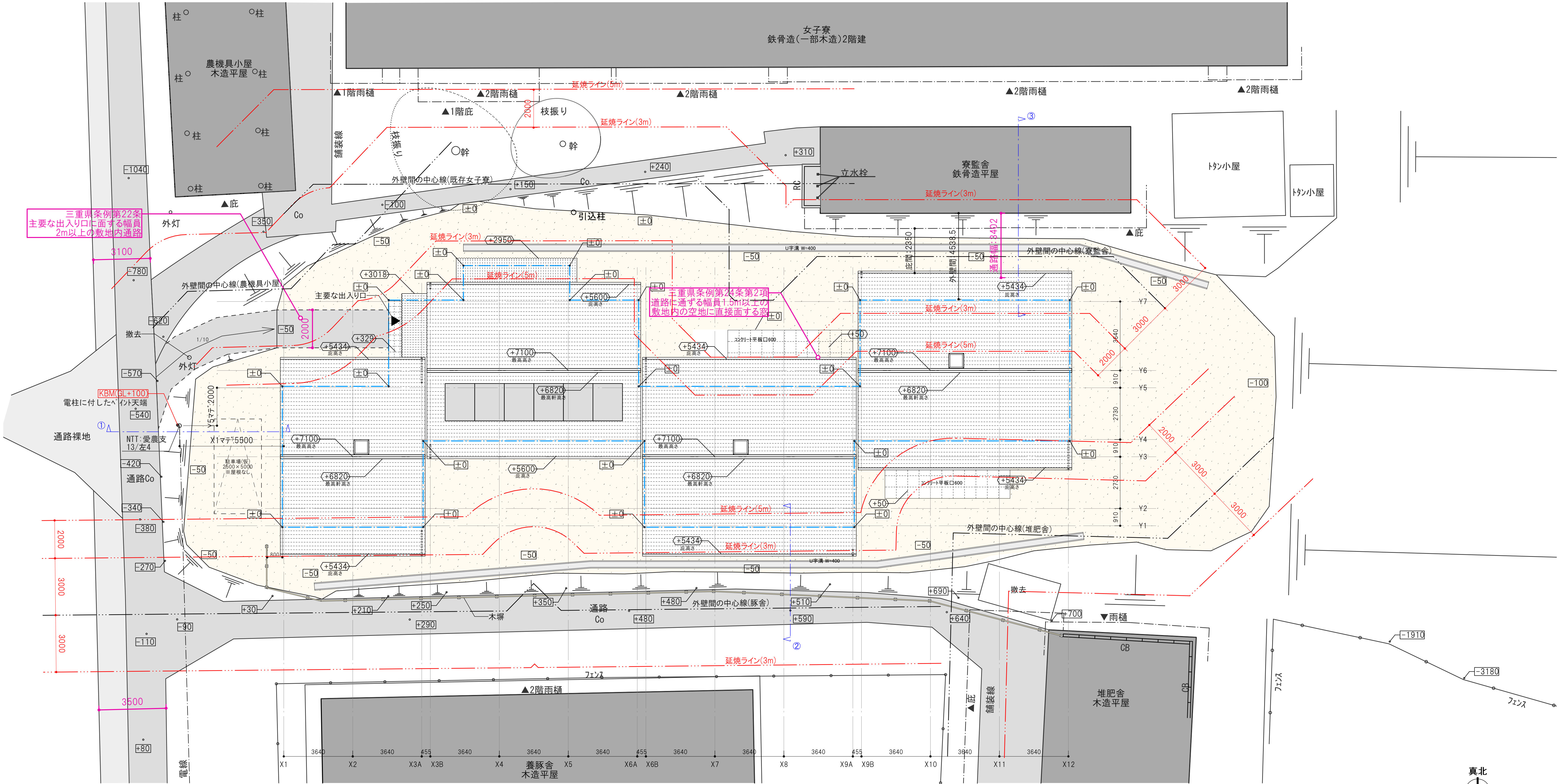
・雨水排水は各建屋で雨水桝・浸透桝・U字溝を適宜設け敷地内浸透とする計画としている。

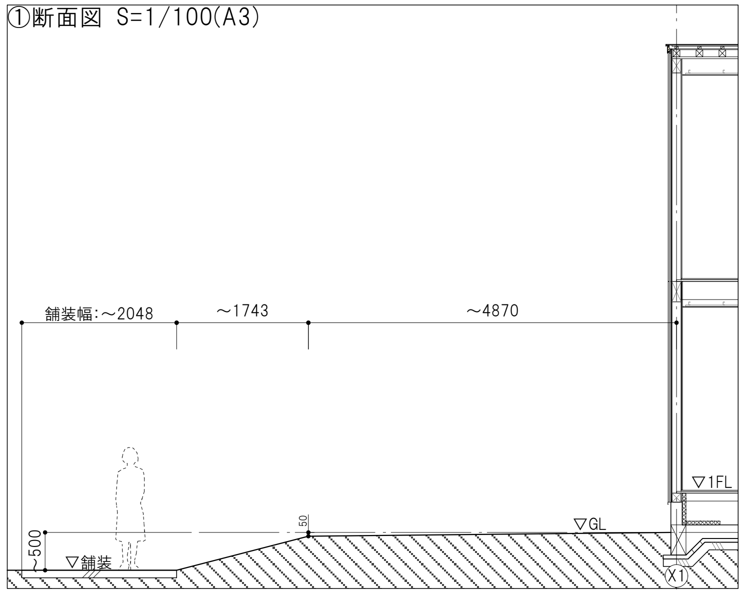
愛農学園農業高等学校女子研修宿泊施設新築工事 2025.04.25

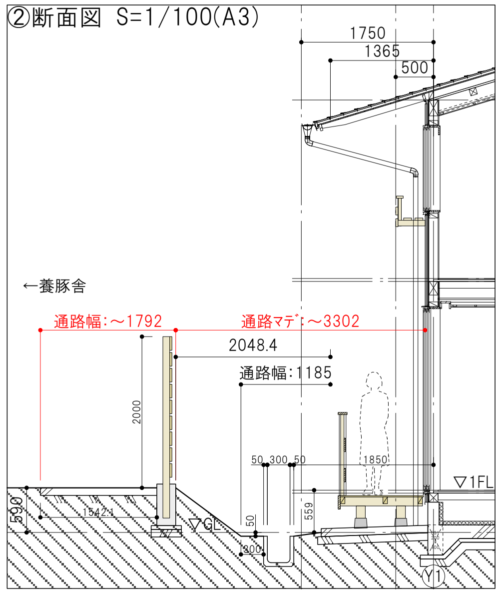
敷地全体配置図 1/1000(A3)

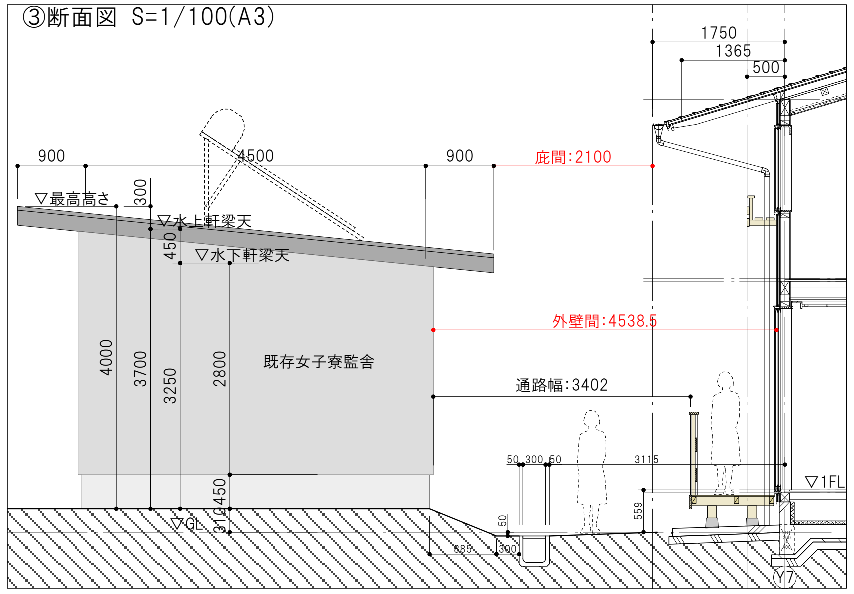
A-01b

野沢建築工房・スタジオノラ設計共同体
野沢正光建築工房 〒156-0051 東京都世田谷区宮坂3-14-15 イーストウィング102
一級建築士登録:第347921 石黒健太 一級建築士事務所東京都知事登録:第15618




【凡例】
- 地盤面と接する基礎の外周線
- 延焼のおそれのある範囲
- 設計GLからの計画地の高さ
- 設計GLからの建物高さ
- 地ならしおよび水勾配を施す外構範囲を示す
- 舗装通路
- 裸地通路

愛農学園農業高等学校女子研修宿泊施設新築工事 2025.04.25

配置図 1/200(A3)
断面図 1/100(A3)

A-05

野沢建築工房・スタジオノラ設計共同体

野沢正光建築工房 〒156-0051 東京都世田谷区宮坂3-14-15 イーストウィング102
一級建築士登録:第347921 石黒健太 一級建築士事務所東京都知事登録:第15618

# 補助金

- 農林水産省のＲ６年度補正予算補助金交付対象事業（農業教育環境整備事業のうち施設等整備事業）に該当

  「別記3_農業教育環境整備事業(index-63.pdf)」第5章第2項に該当
- 今年度の3月中までに完了し交付を受ける必要がある
- 完了時には工事完了届、施工図のほかに工事費内訳書の提出が必要
- 入札の工事内容には一部補助対象外工事（地盤改良工事など）も含むため完了時には交付申請用に別途工事費内訳書の作成業務を依頼する。
- 工事費積算基準についても規定があるため要確認

  「強い農業づくり総合支援交付金のうち産地基幹施設等支援タイプ等 の交付対象事業事務及び交付対象事業費の取扱いについて（211221-38.pdf）」（第2章から第5章参照）

# 工法・構造の説明

- 「愛農高校女子宿泊研修施設の設計に関する参考資料」を参照

# 愛農高校女子宿泊研修施設の設計に関する参考資料

2024.12.20　野沢正光建築工房

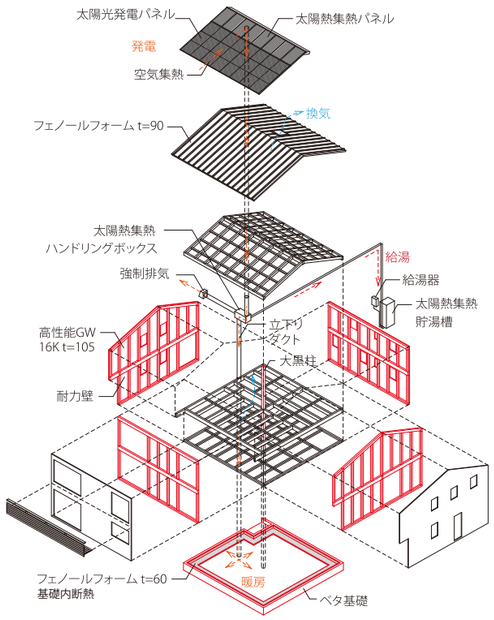
## ■施設計画の概要

愛農高校では、年々増加する**女子入学希望者の受け入れ**に対応すること、また日本の農業教育を担う立場である学校としてその**教育環境を整備**すべく、新たに宿泊研修施設を新築することが必要とされている。一方で近年**学校敷地内の建物が更新時期**を迎えていることや、これまでに愛農高校で実施されてきた**本校舎の耐震・断熱改修**の経緯などから、**持続可能な建築や学校計画**に対する気運が高まっており、今回新築される研修施設においては**環境に配慮した計画**であることに加えて、**永く使い続けられる**施設の計画を目指すことが求められている。さらには高騰する建設費に対する**合理的なコスト管理**がなされ、愛農高校の校風や自然環境を十分に享受することができ、**環境教育面においても貢献**できる施設とされることが望ましい。そこで永く住み続けられることが可能で、環境性能に優れた**木造ドミノ住宅**の工法を採用し、計画することとした。

## ■木造ドミノ住宅とは

「木造ドミノ住宅」（2007年度グッドデザイン賞受賞）は**70年の長期利用**を見込んだ在来工法をベースとする**サポート＆インフィル住宅**である。**耐力壁の配置を建物の外周部のみ**に集約することで、住宅内部に存在する構造体は大黒柱１～２本のみの**がらんどうな空間**となる。柱や耐力壁などの構造（サポート)と設備や内部の間仕切りなど(インフィル)が**分離して計画**されるため、部屋の用途変更や人数の変化に伴う間仕切り壁の移動・撤去など間取りの変更が可能で**平面計画の自由度・可変性**に優れる。また電気配線や給排水配管を耐力壁内に埋設しないため、設備機器の**メンテナンスや更新が容易**となり、永く住み続けられる住宅が実現可能である。さらには、建設にあたり特殊な技術を必要としない**在来工法**を採用しているため、**汎用性のある生産システム**により工程の集約や工期の短縮、材料費の削減が可能である。

△上棟後の内部空間（左）/設備や家具で緩やかに仕切られた内部空間（右）

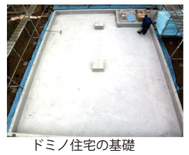



木造ドミノ住宅 の構成

・各部の特徴と長寿命化の工夫

①がらんどうな基礎

従来型の住宅基礎



ドミノ住宅の基礎

耐力壁が外周に集約されるため、RCの立上りも外周と大黒柱部のみとなり**1F床下はがらんどう**となる。そのため従来型の住宅基礎と比べると、コンクリートの使用量が**20%削減**され、その結果**CO2排出量の削減**される。さらに型枠工事に要する手間が省略されるため、**工期短縮や人工削減**に貢献する。

②シンプルな架構と地元木材の利用

在来工法の採用によるシンプルな架構は特殊な工具や工法を用いないため施工者を選ばず、**工程の集約や効率化**を図ることが可能となる。また地元の流通材を利用することで**現地の産業システム**を活用でき、配送費や材料費の**コスト削減**、さらには地産地消や森林の循環など、**持続可能な社会の実現**への一助となる。

③床張り先行/吊戸レール

床張りを先行して行うことで施工面では2階架構施工時の足場が確保でき、1階を資材置き場等として利用できる。また室内の建具を吊戸レールとすることで敷居レールをなくし、**間取りの変更**に容易に対応可能となる。

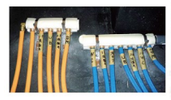
④軽量鉄骨下地による天井・間仕切り壁の計画

天井や間仕切りの下地を軽量鉄骨下地とすることで、**間取りの改変**への対応が容易に可能となる。また、軸組の施工工程と完全に切り離して行えるため、**工期の短縮や職人の作業効率**に貢献する。

⑤長押を利用した配管・配線計画

電気設備の配線や空調配管などを耐力壁内に埋め込まず長押等の内に露出としておくことで、**設備のメンテナンスや更新**に容易に対応できる。また天井を張らずに架構を表しとすることが可能で**意匠的な利点**も挙げられる。

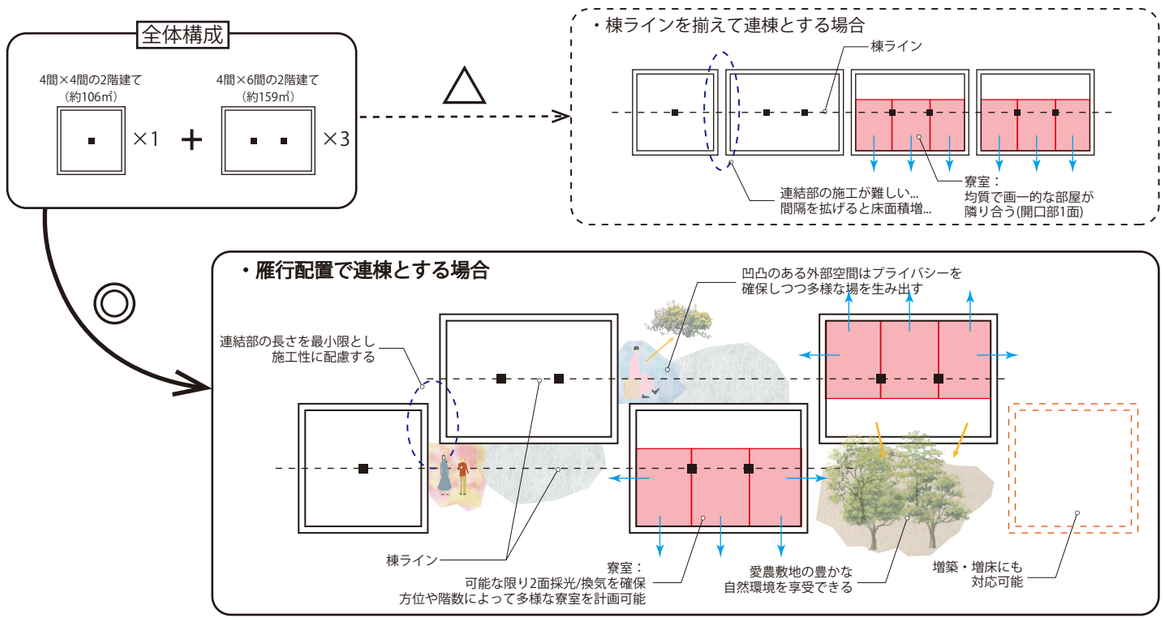
⑥給排水を一元管理する配管工法

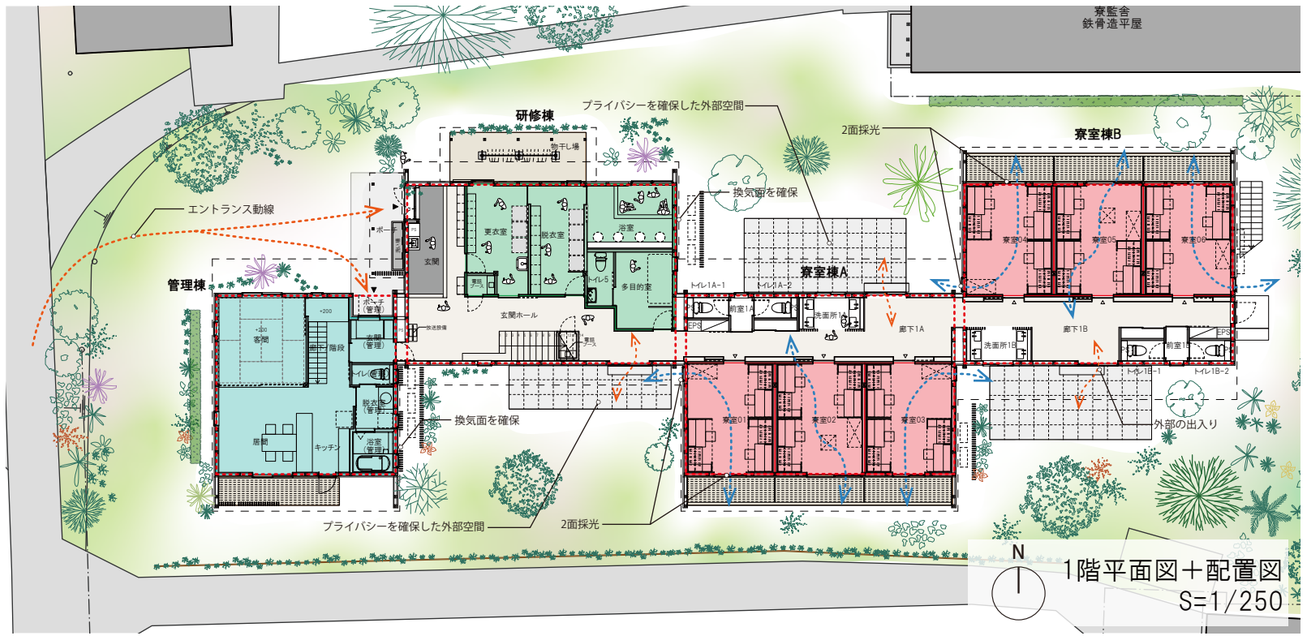


1階床下のがらんどうな**基礎内で配管の取り回し**を行うため室内側に現れる配管が少なくなる。また配管は基礎下に埋め込まず、基礎立ち上がりで外部に貫通させるため、**配管の更新やメンテナンス**がし易い。

## ■研修施設への応用

必要用途や利用人数から考慮すると、愛農高校の宿泊研修施設の**最低必要床面積は約600㎡**である。木造ドミノ住宅の工法としては住宅1棟を一つのモジュール（単位）としており、その性能や施工面での合理性を担保するために600㎡のまとまった一つの建物を計画するのではなく、**4棟の住宅スケールの建物を連結**させるようにして1つの施設を形成する計画とした。これにより中規模木造の実績の少ない地元技術者などの参画が可能になり、地域の**産業システムを利用した施工上のコスト管理**も可能とすると考えられる。平面計画としては敷地条件から東西に長い計画とすることが求められる。必要な部屋数と面積の条件下で各室の居住性を確保すること、既存建物に囲まれた計画地において外部に多様な場を生み出すこと、棟接合部における施工上のリスクを回避するなどの目的で各棟の棟ラインを南北にずらし、各棟を雁行に配置する平面計画としている。



# 工期およびスケジュール

- 補助金事業としてはR７年3月中に完了とすることが必須
- 可能な限り早期に竣工させ、卒業年度の在校生にも女子寮を使用できる期間を確保したい
- 年内に竣工することを最善の目標としたいが、落札者の見解も考慮し協議に応じる
- 落札者決定後は早急に工期およびスケジュールを協議し、決定する

# 法規関係の注意事項

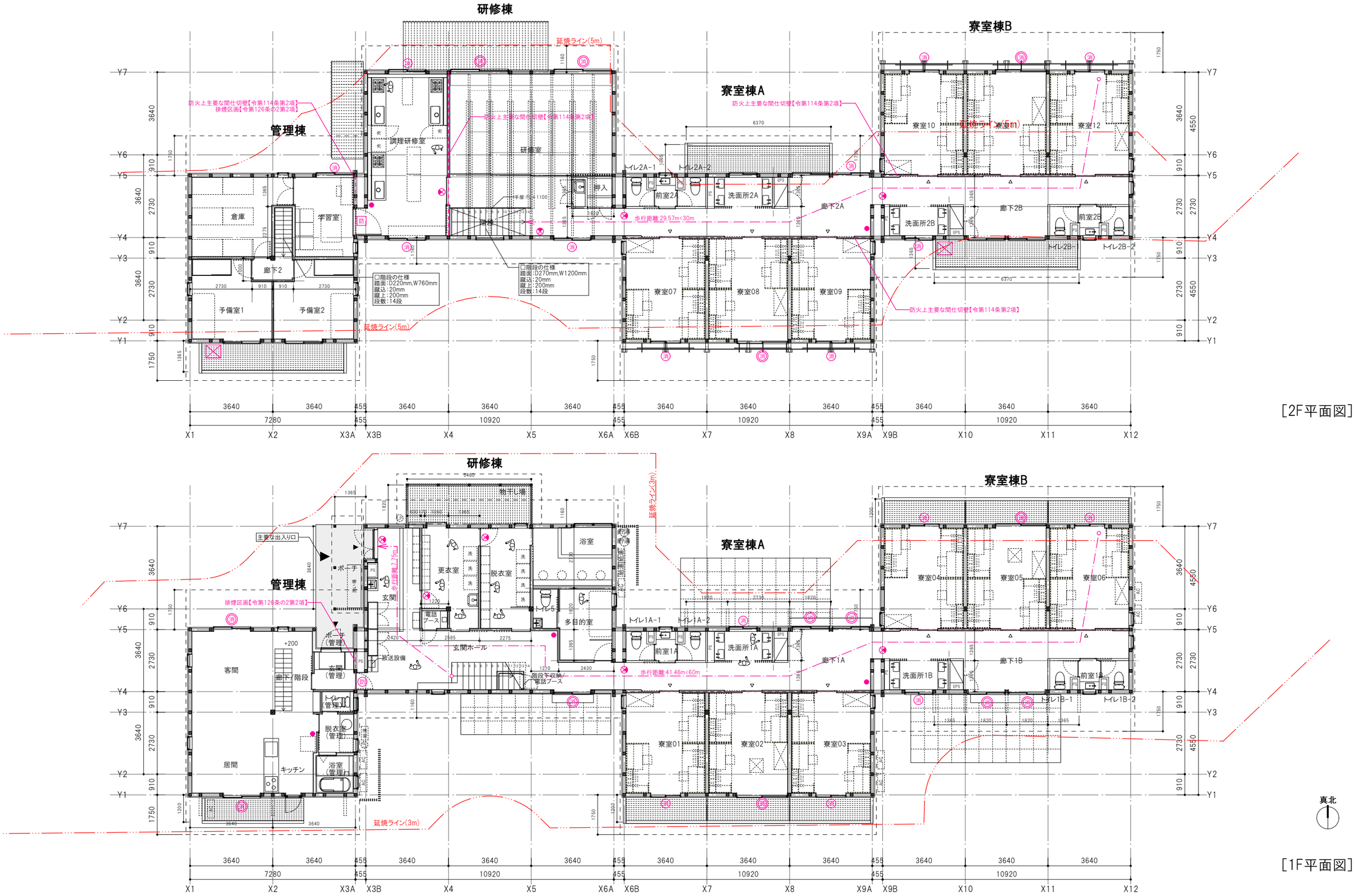
- 建築基準法上の用途は寄宿舎、消防法上は別表1(5)イに該当

- 建築基準法関係

  内装制限/排煙区画（防火設備）/防火上主要な間仕切り壁/小屋裏隔壁/22条地域における屋根の構造/22条地域における延焼範囲内の外壁の構造/特定工程の中間検査の実施（上棟→検査→外壁・内壁工事）

- 消防法関係

  自動火災報知設備/自火報連動の防火設備/消火器/避難器具/誘導標識




[2F平面図]

[1F平面図]

【凡例】

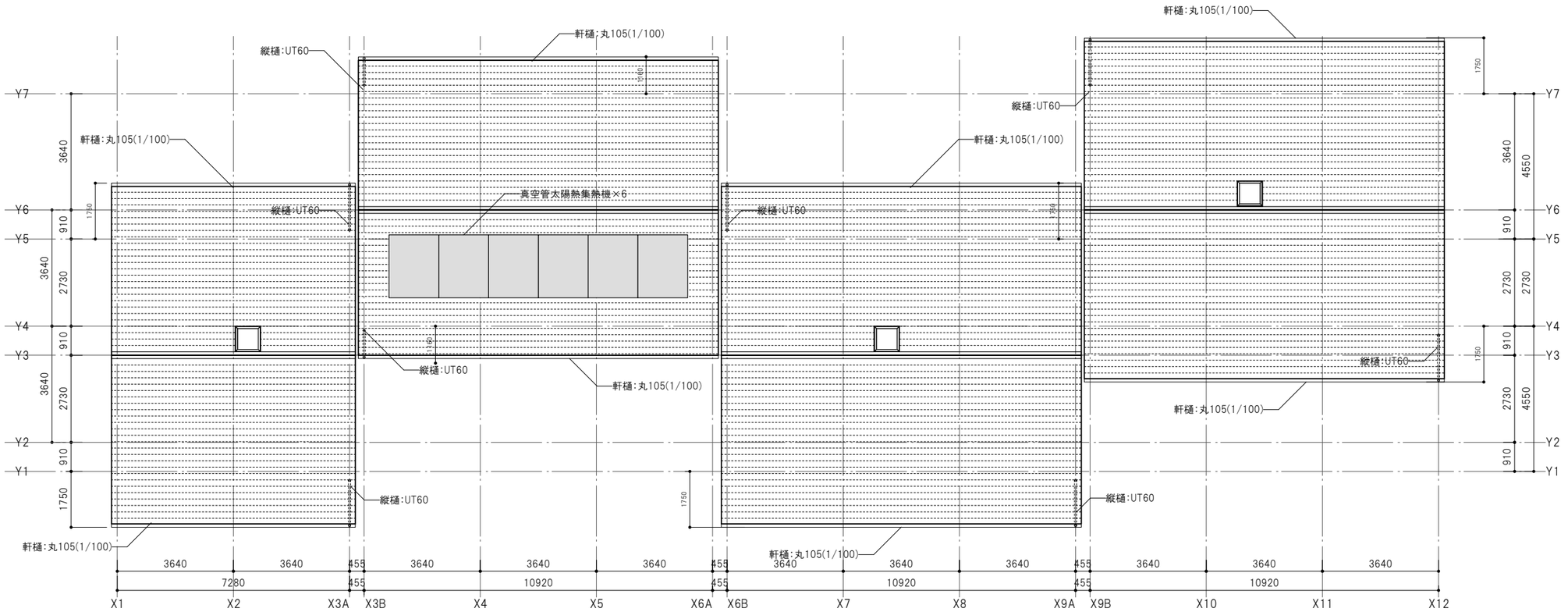
- 防 令第126条の2第2項による防火設備(常時閉鎖)
- 防 令第126条の2第2項による防火設備(随時閉鎖)
- 消 消防法上の無窓階判定に関する開口部(直径≧1mの円が内接する、または W≧75cmかつH≧120cmの開口部)
- 消 消防法上の無窓階判定に関する開口部(直径≧50cmの円が内接する開口部)
- 令第114条第2項による準耐火構造の防火上主要な間仕切壁または令第126条の2第2項による準耐火構造の壁
- 消火器
- 避難器具
- 避難誘導標識

愛農学園農業高等学校女子研修宿泊施設新築工事　2025.04.25

各階平面図　1/150(A3)

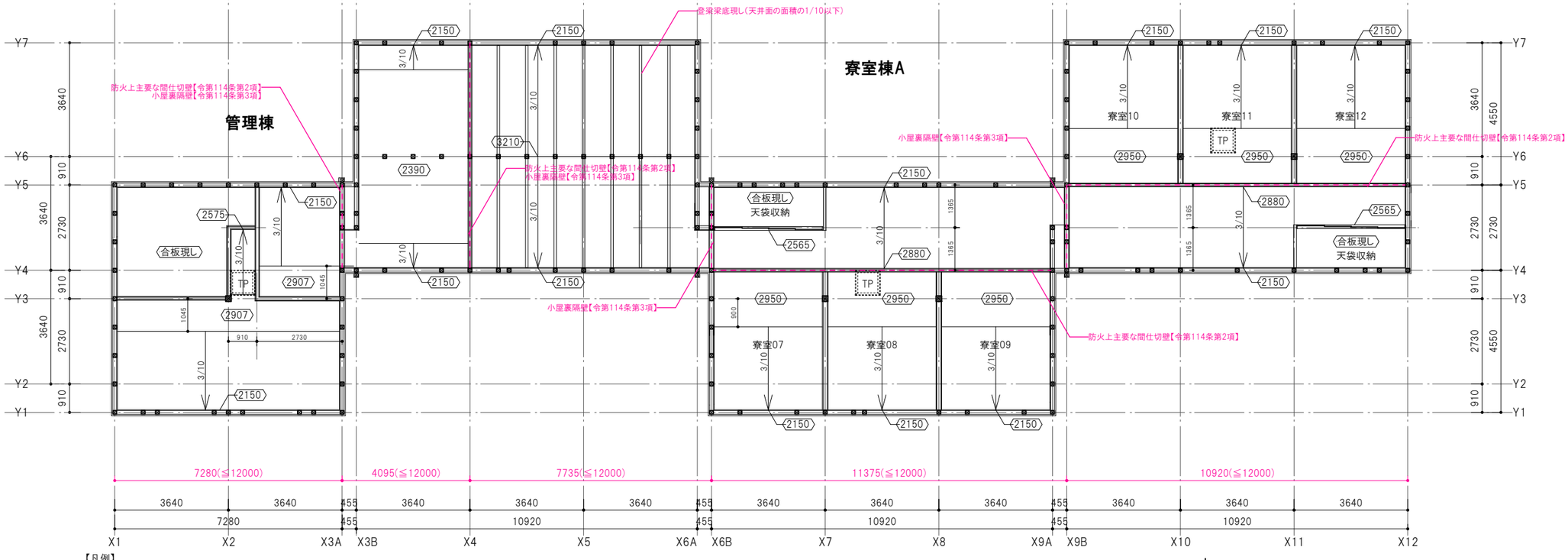
A-06

野沢建築工房・スタジオノラ設計共同体
野沢正光建築工房　〒156-0051 東京都世田谷区宮坂3-14-15イーストウィング102
一級建築士登録:第347921 石黒健太　一級建築士事務所東京都知事登録:第15618




研修棟　寮室棟B

[屋根伏図]




[2階天井伏図]

【凡例】

- ・令第114条第2項における準耐火構造の防火上主要な間仕切壁（「建築物の防火避難規定の解説」【44】参照）
- ・令第114条第3項における準耐火構造の小屋裏隔壁
- 2FLからの天井高さ
- 天井勾配

愛農学園農業高等学校女子研修宿泊施設新築工事　2025.04.25

屋根伏図　1/150(A3)

A-07

野沢建築工房・スタジオノラ設計共同体
野沢正光建築工房　〒156-0051　東京都世田谷区宮坂3-14-15イーストウィング102
一級建築士登録：第347921 石黒健太　一級建築士事務所東京都知事登録：第15618

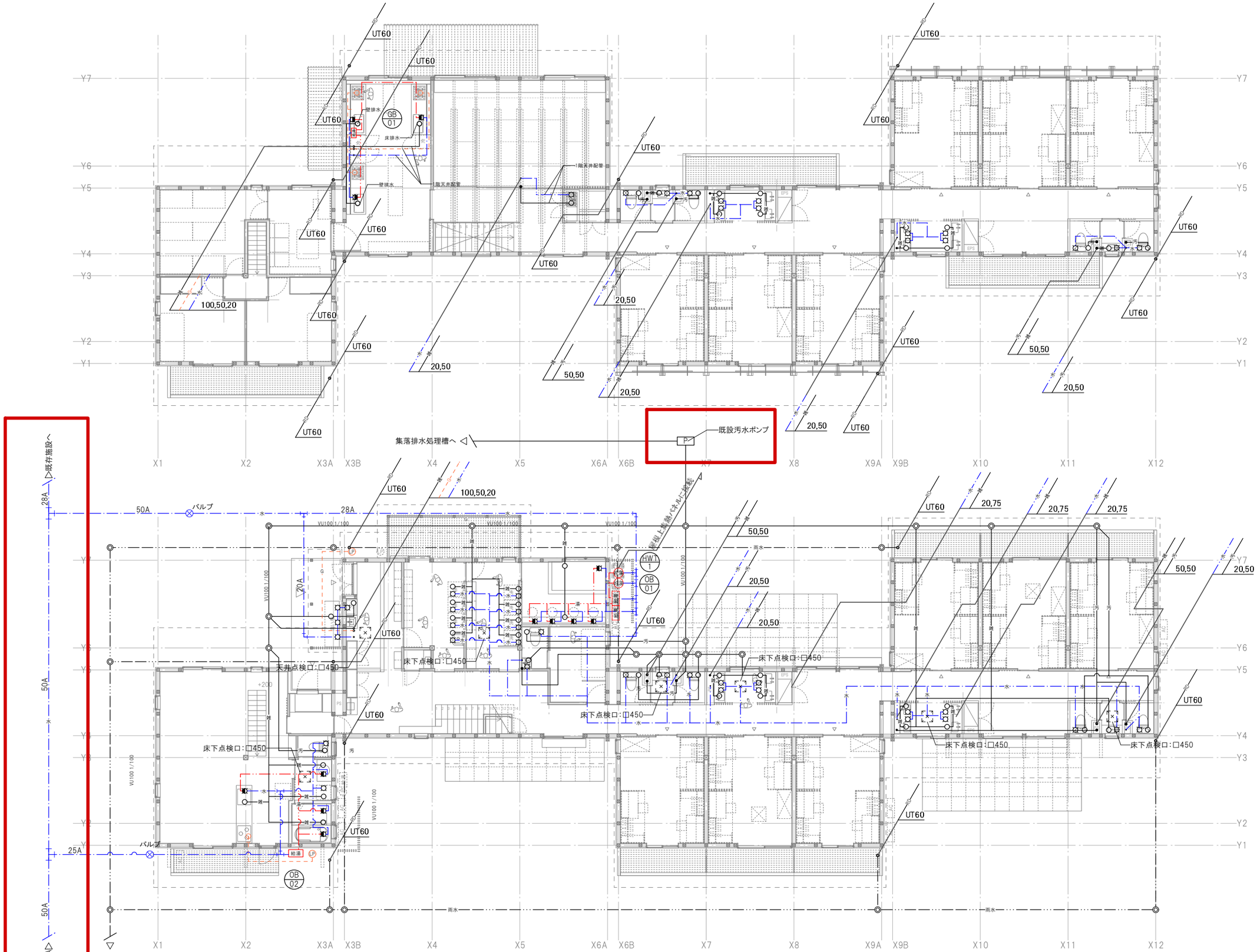
# インフラ工事（現地にて確認）

- 給排水衛生工事
  - 給水については既設給水管から新女子寮用に分岐配管を敷設する工事を実施済みのため、本工事ではつなぎのみ
  - 汚水排水は現女子寮南側にある圧送ポンプに接続し排水

- 電気設備

  既存女子寮への送りの低圧配線を分岐し新女子寮へ送電する

  →本工事では電柱1本の新設と既存配線の迂回路の配線工事も見込むこととする（図面に未記載の内容）




[2F平面図]

[1F平面図]

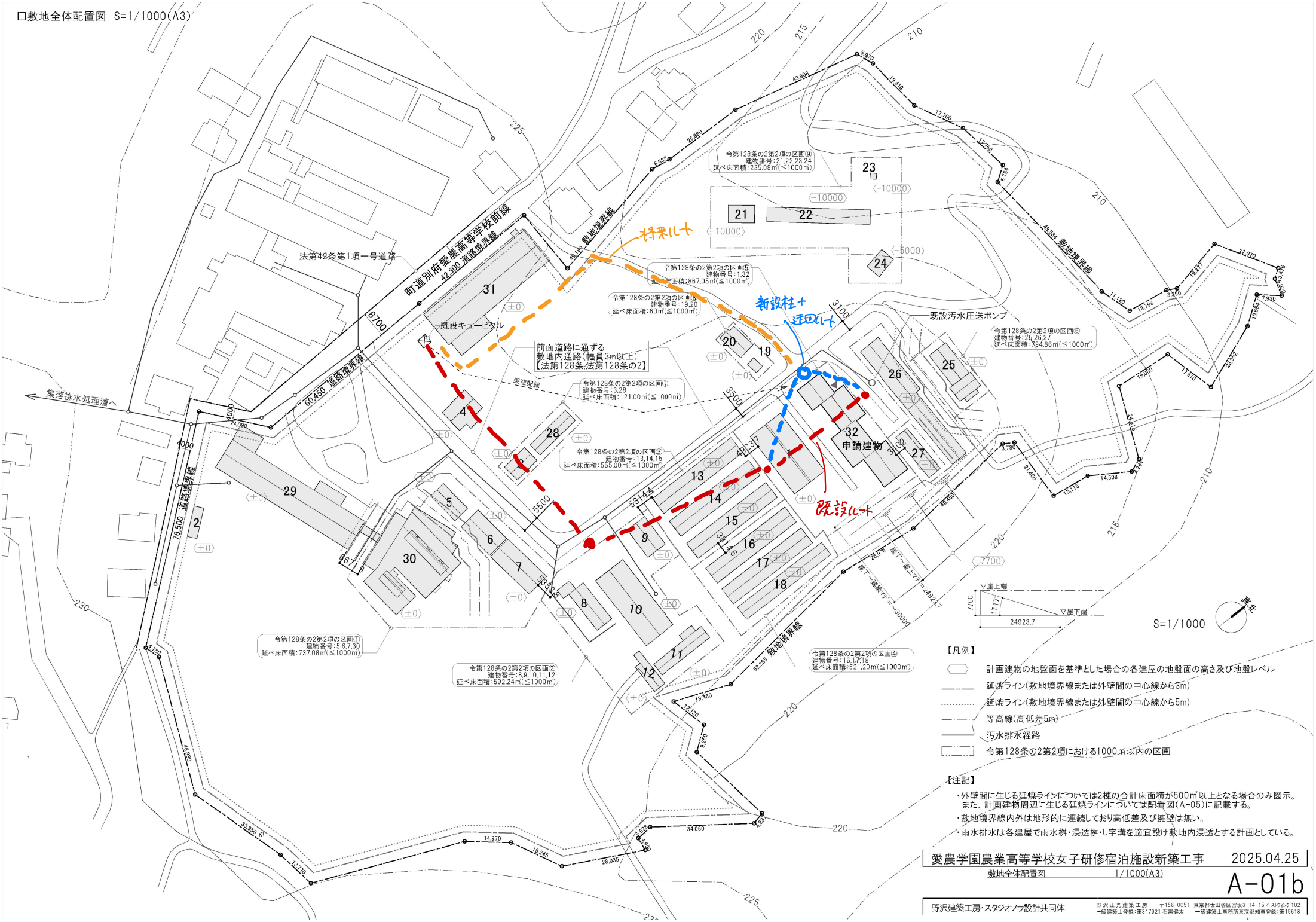
愛農学園農業高等学校女子研修宿泊施設新築工事　2025.04.25

給排水衛生設備各階伏図　1/150(A3)

M-08

野沢建築工房・スタジオノラ設計共同体
野沢正光建築工房　〒156-0051　東京都世田谷区宮坂3-14-15イーストウィング102
一級建築士登録：第347921 石黒健太　一級建築士事務所東京都知事登録：第15618

口敷地全体配置図 S=1/1000(A3)




【凡例】

- 計画建物の地盤面を基準とした場合の各建屋の地盤面の高さ及び地盤レベル
- 延焼ライン(敷地境界線または外壁間の中心線から3m)
- 延焼ライン(敷地境界線または外壁間の中心線から5m)
- 等高線(高低差5m)
- 汚水排水経路
- 令第128条の2第2項における1000㎡以内の区画

【注記】

・外壁間に生じる延焼ラインについては2棟の合計床面積が500㎡以上となる場合のみ図示。
また、計画建物周辺に生じる延焼ラインについては配置図(A-05)に記載する。
・敷地境界線内外は地形的に連続しており高低差及び擁壁は無い。
・雨水排水は各建屋で雨水桝・浸透桝・U字溝を適宜設け敷地内浸透とする計画としている。

愛農学園農業高等学校女子研修宿泊施設新築工事 2025.04.25

敷地全体配置図 1/1000(A3)

A-01b


野沢建築工房・スタジオノラ設計共同体
野沢正光建築工房 〒156-0051 東京都世田谷区宮坂3-14-15 イーストウィング102
一級建築士登録:第347921 石黒健太 一級建築士事務所東京都知事登録:第15618

女子寮
鉄骨造(一部木造)2階建

農機具小屋
木造平屋

寮監舎
鉄骨造平屋

トタン小屋

堆肥舎
木造平屋

養豚舎
木造平屋

引込柱

新設柱
迂回し十
(本工事)

既設ハート

三重県条例第22条
主要な出入り口に面する幅員
2m以上の敷地内通路

三重県条例第24条第2項
道路に通ずる幅員1.8m以上の
敷地内の空地に直接面する窓

主要な出入り口

外壁間の中心線(既存女子寮)

外壁間の中心線(農機具小屋)

外壁間の中心線(寮監舎)

外壁間の中心線(堆肥舎)

外壁間の中心線(豚舎)

延焼ライン(3m)

延焼ライン(5m)

▲1階雨樋

▲2階雨樋

▲1階庇

▲庇

▼雨樋

立水栓

外灯

撤去

舗装線

フェンス

電線

CB

通路
Co

通路裸地

電柱に付したペイント天端

NTT・愛農支
13/左4

KBM(SL+100)

U字溝 W=400

コンクリート平板□600

庇間:2350

庇間:2100

外壁間:4538.5

外壁間:4538.5

通路幅:3402

通路幅:1185

通路幅:~1792

通路マデ~3302

2048.4

舗装幅:~2048

~1743

~4870

▽最高高さ

▽水上軒梁天

▽水下軒梁天

▽GL

▽1FL

▽舗装

←養豚舎

既存女子寮監舎

①断面図 S=1/100(A3)

②断面図 S=1/100(A3)

③断面図 S=1/100(A3)

真北

※真北方向をX通りとする

【凡例】

- 地盤面と接する基礎の外周線
- 延焼のおそれのある範囲
- 設計GLからの計画地の高さ
- 設計GLからの建物高さ
- 地ならしおよび水勾配を施す外構範囲を示す
- 舗装通路
- 裸地通路

愛農学園農業高等学校女子研修宿泊施設新築工事　2025.04.25

配置図　1/200(A3)
断面図　1/100(A3)

A-05

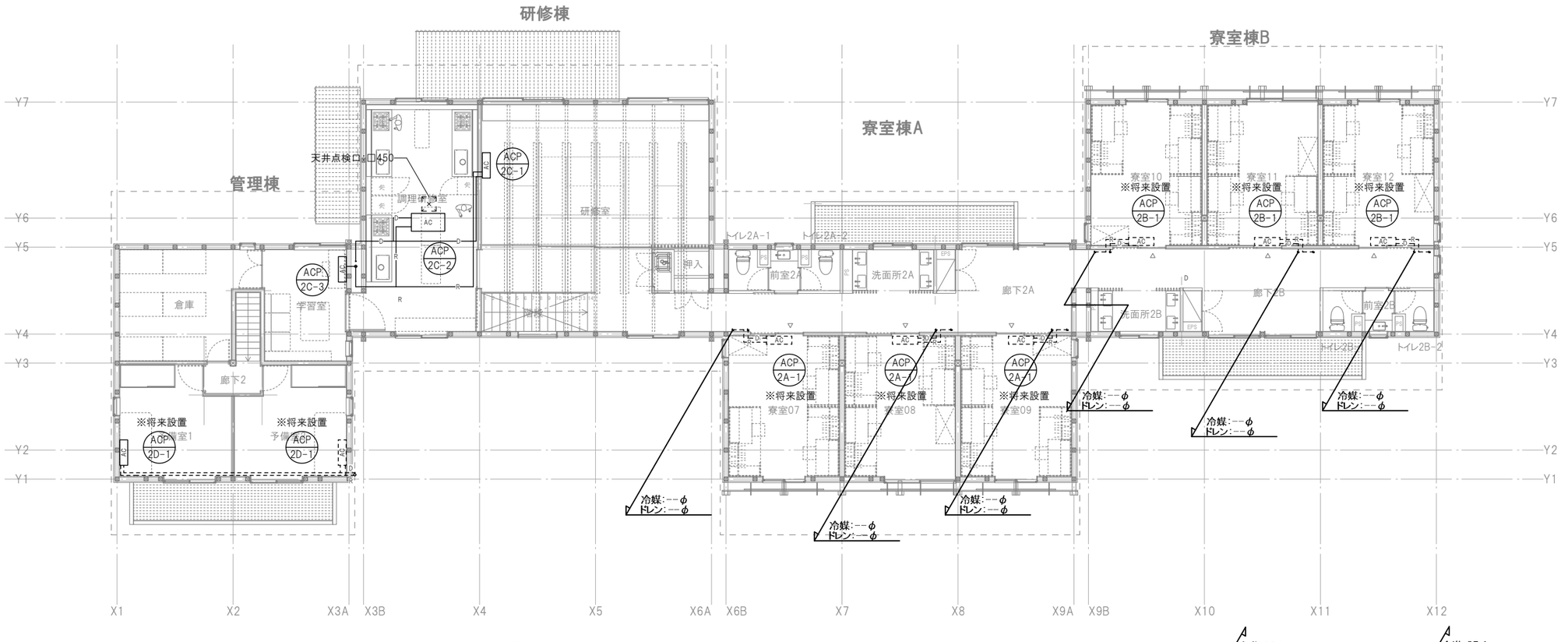
野沢建築工房・スタジオノラ設計共同体
野沢正光建築工房　〒156-0051 東京都世田谷区宮坂3-14-15 イーストウィング102
一級建築士登録:第347921 石黒健太　一級建築士事務所東京都知事登録:第15618

# 設備工事

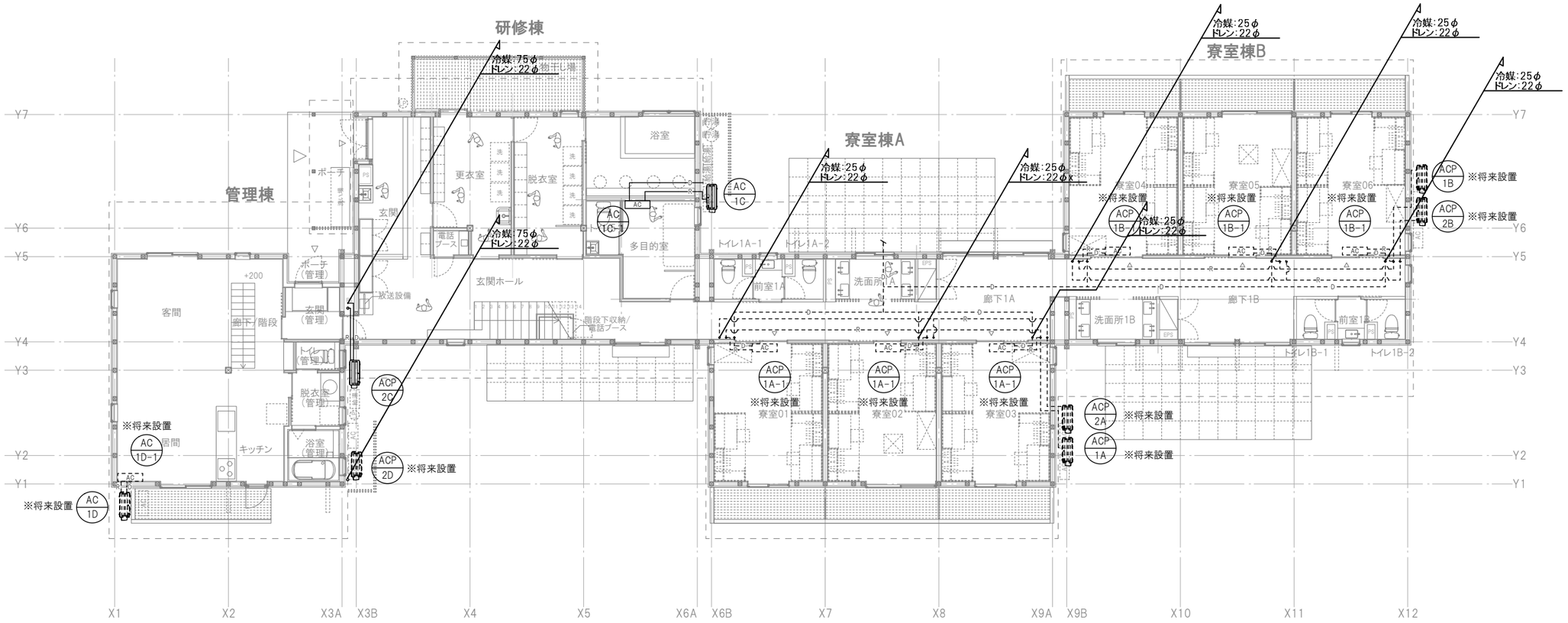
- 空調設備は一部将来設置とし、本工事中には施工しない
  本工事中の実装は研修棟（＋学習室）のみとする

- 将来設置とする管理棟、寮室棟A,Bについては図面表記の位置に設置するものとし、それぞれ電源の用意と基礎部のスリーブおよび防火上主要な間仕切壁の貫通処理を本工事中に用意することとする

- 太陽熱給湯設備は施工者による機器購入が不可となるため施主購入による材料支給とし、設置工事のみを本体工事に見込むこととする




[2F平面図]




[1F平面図]

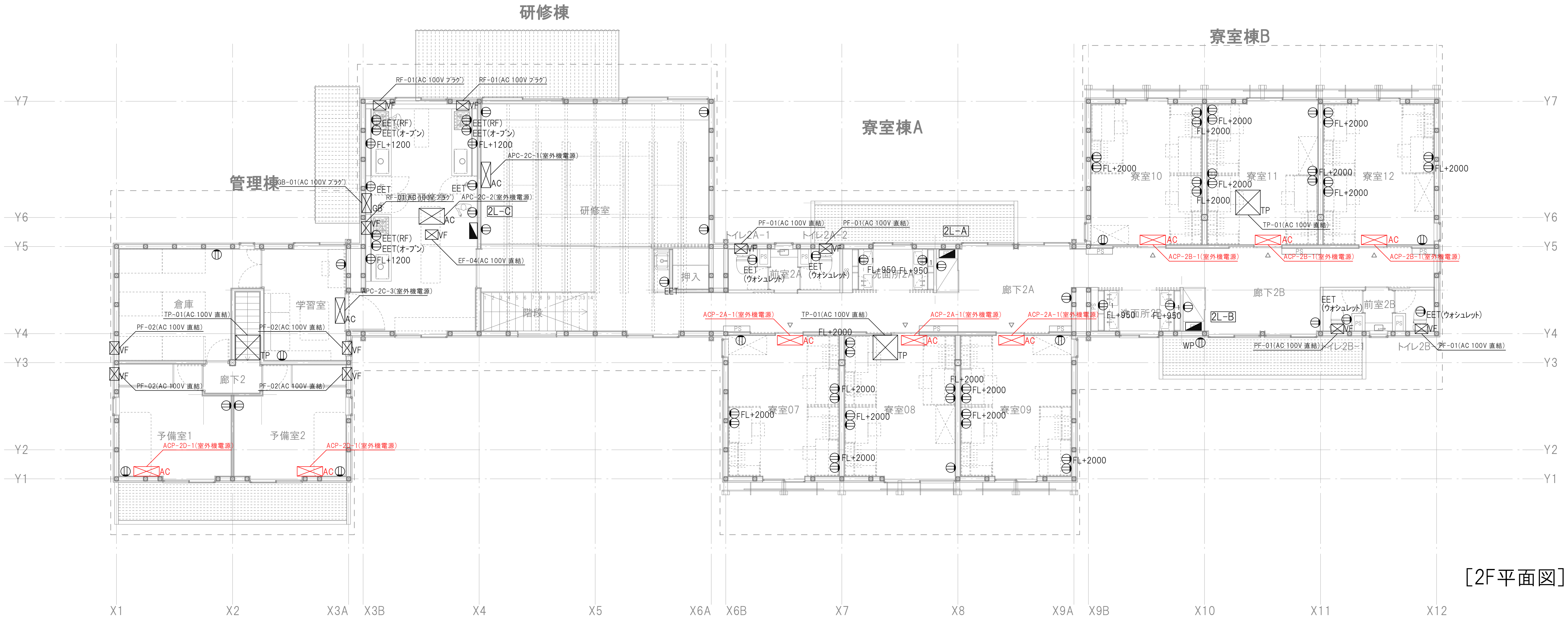
※点線表記の機器および配管は将来設置とし、本工事には含めない。ただしスリーブおよび電源の用意については本工事中に見込むものとする。

愛農学園農業高等学校女子研修宿泊施設新築工事　2025.04.25

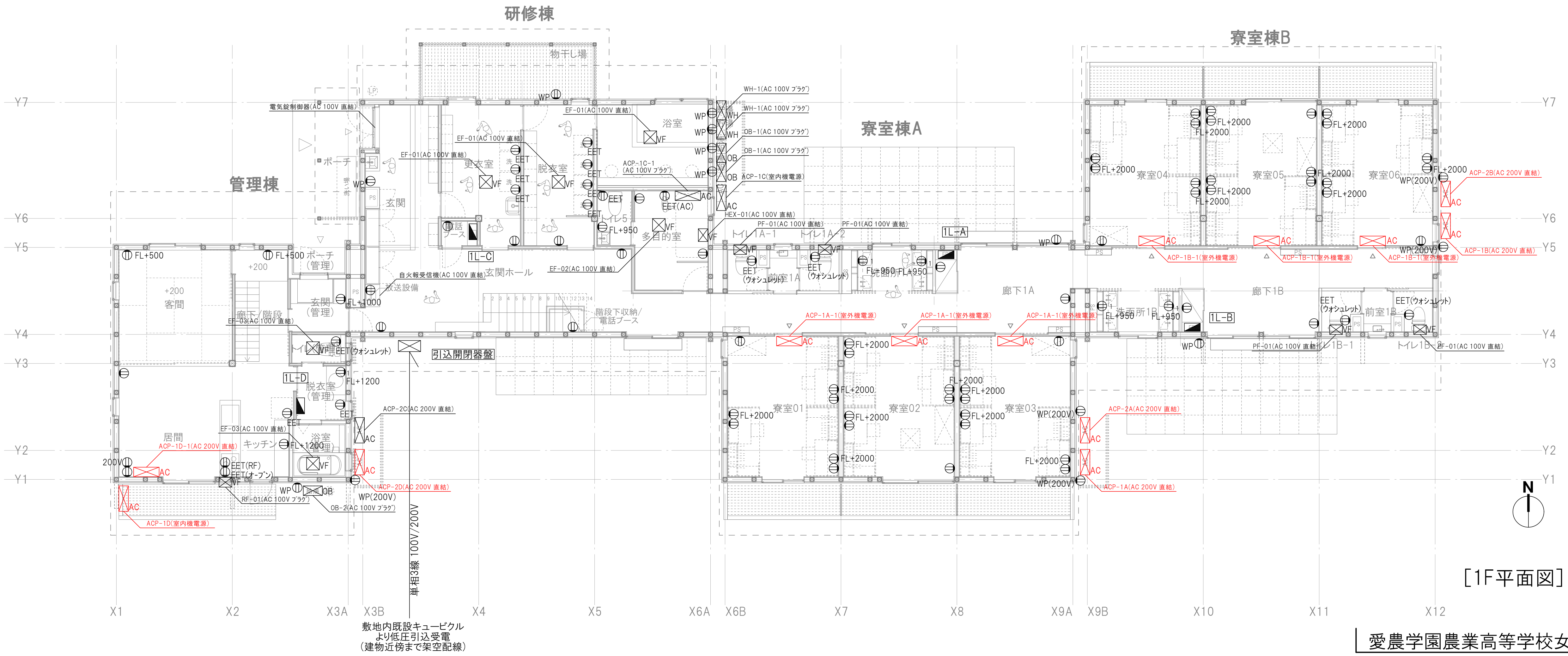
空調設備平面図　1/150(A3)

M-02

野沢建築工房・スタジオノラ設計共同体
野沢正光建築工房　〒156-0051 東京都世田谷区宮坂3-14-15 イーストウィング102
一級建築士登録:第347921 石黒健太　一級建築士事務所東京都知事登録:第15618




[2F平面図]




[1F平面図]

**【凡例】**

| 記号 | 名称 | 備考 |
|---|---|---|
| ⊠ | 引込開閉器盤 | |
| ◢ | 電灯分電盤 | 分岐ﾌﾞﾚｰｶｰは漏電遮断機能付とする |
| ⊠AC | 空調機 | 機械設備工事 |
| ⊠VF | 換気扇 | 機械設備工事 |
| ⊠WH | 太陽熱給湯機 | 機械設備工事 |
| ⊠GB | ｶﾞｽ給湯機 | 機械設備工事 |
| ⊠OB | 石油給湯機 | 機械設備工事 |
| ⊠TP | 電動開閉ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ | 建築工事 |
| ⦶1 | 埋込コンセント | ２Ｐ１５Ａ×１　（洗面所用） |
| ⦶ | 埋込コンセント | ２Ｐ１５Ａ×２ |
| ⦶EET | 埋込コンセント | ２Ｐ１５Ａ×１　接地極付＋接地端子 |
| ⦶WP | 防水コンセント | ２Ｐ１５Ａ×２　接地極付 |

**【機器消費電力】**

| 負荷 | 機器名称 | 電源 | 台数 | 消費電力(60Hz) | 参考品番 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1L-A | ﾊﾟｲﾌﾟﾌｧﾝ(PF-01) | 直結 | 2 | 1φ, 100V, 3.3W | V-12PALD8 |
| | 室外機(ACP-1A) | 直結 | 1 | 1φ, 200V, 2460W | 3M683AV |
| | ｳｫｼｭﾚｯﾄ | ﾌﾟﾗｸﾞ | 2 | 1φ 100V, 1277W | TCF4724AK |
| 1L-B | ﾊﾟｲﾌﾟﾌｧﾝ(PF-01) | 直結 | 2 | 1φ, 100V, 3.3W | V-12PALD8 |
| | 室外機(ACP-1B) | 直結 | 1 | 1φ, 200V, 2460W | 3M683AV |
| | ｳｫｼｭﾚｯﾄ | ﾌﾟﾗｸﾞ | 2 | 1φ 100V, 1277W | TCF4724AK |
| 1L-C | 天井扇(EF-01) | 直結 | 3 | 1φ, 100V, 24W | VD-18ZVD7 |
| | 天井扇(EF-02) | 直結 | 1 | 1φ, 100V, 6W | VD-07ZVD7 |
| | 全熱交換器(HEX-01) | 直結 | 1 | 1φ 100V, 19W | VL-08ES3 |
| | 室内機(ACP-1C-1) | ﾌﾟﾗｸﾞ | 1 | 1φ 100V, 1220W | S223ATSS-F |
| | ｳｫｼｭﾚｯﾄ | ﾌﾟﾗｸﾞ | 1 | 1φ 100V, 1277W | TCF4724AK |
| | 石油給湯器(OB-1) | ﾌﾟﾗｸﾞ | 2 | 1φ 100V, 85W | OQB-C4701WZSE |
| | 太陽熱給湯(WH-1) | ﾌﾟﾗｸﾞ | 2 | 1φ 100V, 1300W | FUJI-SP制御器 |
| | 自火報受信機 | 直結 | 1 | 1φ 100V | |
| | 電気錠制御器 | 直結 | 1 | 1φ 100V, 1.5W | TKU-003.C |
| 1L-D | 天井扇(EF-03) | 直結 | 2 | 1φ, 100V, 9.7W | VD-10ZVC7 |
| | ﾊﾟｲﾌﾟﾌｧﾝ(PF-02) | 直結 | 2 | 1φ, 100V, 1.5W | V-08XLD4 |
| | ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ(RF-01) | ﾌﾟﾗｸﾞ | 1 | 1φ, 100V, 115W | LGR-3R-AP602 |
| | 室内機(ACP-1D-1) | 直結 | 1 | 1φ 200V, 3450W | S713ATSP-F |
| | 室外機(ACP-2D) | 直結 | 1 | 1φ 200V, 1990W | 2M453AV |
| | ｳｫｼｭﾚｯﾄ | ﾌﾟﾗｸﾞ | 1 | 1φ 100V, 1277W | TCF4724AK |
| | 石油給湯器(OB-2) | ﾌﾟﾗｸﾞ | 1 | 1φ 100V, 236W | OTQ-C4706SAYS BL |
| | 電子ｺﾝﾍﾞｯｸｵｰﾌﾞﾝ | ﾌﾟﾗｸﾞ | 1 | 1φ 100V, 1350W | RSR-S15E-ST |
| | ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ(TP-01) | 直結 | 1 | 1φ 100V, 15W | VS-M02 |
| 2L-A | ﾊﾟｲﾌﾟﾌｧﾝ(PF-01) | 直結 | 2 | 1φ, 100V, 3.3W | V-12PALD8 |
| | 室外機(ACP-2A) | 直結 | 1 | 1φ, 200V, 2460W | 3M683AV |
| | ｳｫｼｭﾚｯﾄ | ﾌﾟﾗｸﾞ | 2 | 1φ 100V, 1277W | TCF4724AK |
| | ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ(TP-01) | 直結 | 1 | 1φ 100V, 15W | VS-M02 |
| 2L-B | ﾊﾟｲﾌﾟﾌｧﾝ(PF-01) | 直結 | 2 | 1φ, 100V, 3.3W | V-12PALD8 |
| | 室外機(ACP-2B) | 直結 | 1 | 1φ, 200V, 2460W | 3M683AV |
| | ｳｫｼｭﾚｯﾄ | ﾌﾟﾗｸﾞ | 2 | 1φ 100V, 1277W | TCF4724AK |
| | ﾄｯﾌﾟﾗｲﾄ(TP-01) | 直結 | 1 | 1φ 100V, 15W | VS-M02 |
| 2L-C | ﾊﾟｲﾌﾟﾌｧﾝ(PF-02) | 直結 | 2 | 1φ, 100V, 1.5W | V-08XLD4 |
| | ｼﾛｯｺﾌｧﾝ(EF-04) | 直結 | 1 | 1φ, 100V, 145W | BFS-90SUDC |
| | ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ(RF-01) | ﾌﾟﾗｸﾞ | 3 | 1φ, 100V, 115W | LGR-3R-AP602 |
| | 室外機(ACP-2C) | 直結 | 1 | 1φ, 200V, 3280W | 5M1003AV |
| | 電子ｺﾝﾍﾞｯｸｵｰﾌﾞﾝ | ﾌﾟﾗｸﾞ | 3 | 1φ 100V, 1350W | RSR-S15E-ST |
| | ｶﾞｽ給湯器(GB-1) | ﾌﾟﾗｸﾞ | 1 | 1φ 100V, 41W | RUX-SE1616W |

**【配管・配線】**

・特記なき配線は下記による。

-//-・—・-E　VVF2.0-2C (PF22)

—・—・-E　VVF2.0-3C (PF22)

・天井内はころがし配線とし、立上げ・立下り・壁貫通部等はPF管にて保護を見込む。

・ケーブルの防火上主要な間仕切の貫通部は国土交通大臣認定工法による耐火処理を施すこと。

**【注記】**

※コンセントの設置高さの測点は機器の中心とする。

※記載のない限り室内コンセントの設置高さはコンセント中心をFL＋300㎜とする。

※記載のない限り屋外コンセントの設置高さはコンセント中心をGL＋500㎜とする。

※1台8A以上の機器は単独回路とすること。

※洗面所用の一口コンセントは単独回路とすること。

※上記および図中に特記のないコンセント（サービスコンセント）は1.5Aで見込むこと。

※1回路内の合計は16A以内とすること。

※図中赤色で記載の空調設備は将来設置とするため、電源接続機器設置場所に200Vコンセントを見込むこと。

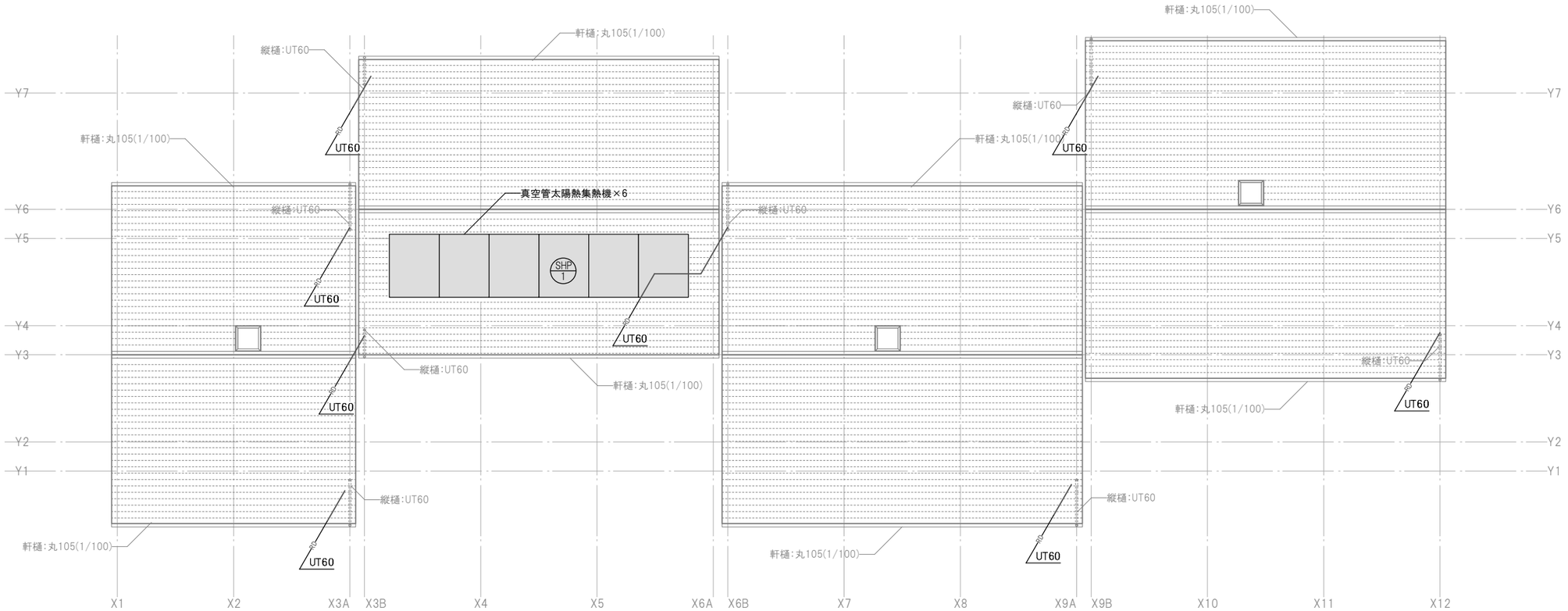
愛農学園農業高等学校女子研修宿泊施設新築工事　2025.03.25

電源･コンセント設備平面図　1/150(A3)

E-02

野沢建築工房･スタジオノラ設計共同体

野沢正光建築工房　〒156-0051 東京都世田谷区宮坂3-14-15 ｲｰｽﾄｳｨﾝｸﾞ102
一級建築士登録:第347921 石黒健太　一級建築士事務所東京都知事登録:第15618




［屋根伏図］

| 記 号 | 機 器 名 | 機 器 仕 様 | 電 源 (60Hz) φ | V | 最大消費電力 W | 電源接続 | 台数 | 設置場所 | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| OB-01 | 給湯用石油湯沸器 | 仕 様: 屋外壁掛型 | 1 | 100 | 176 | ﾌﾟﾗｸﾞ | 2 | 研修棟屋外設備スペース | 参考品番: |
| | | 能力: 46.5kW(40,000kcal/h) | | | | | | | OQB-C4701WZS(ノーリツ) |
| | | 付属品: 標準付属品一式、メインリモコン、サブリモコン | | | | | | | |
| | | 連結部品一式 | | | | | | | |
| OB-02 | 給湯用石油湯沸器 | 仕 様: 屋外壁掛型 | 1 | 100 | 236 | ﾌﾟﾗｸﾞ | 1 | 管理棟屋外設備スペース | 参考品番: |
| | | 能力: 46.5kW(40,000kcal/h) | | | | | | | OTQ-C4706SAYS BL(ノーリツ) |
| | | 付属品: 標準付属品一式、メインリモコン、サブリモコン | | | | | | | |
| GB-01 | 給湯用ガス給湯器 | 仕 様: 屋外壁掛型(FF式による屋内設置) | 1 | 100 | 41 | ﾌﾟﾗｸﾞ | 1 | 調理研修室 | 参考品番: |
| | | 能力号数: 16号～2.8号 | | | | | | | RUX-E1616W(A)(リンナイ) |
| | | ｶﾞｽ消費量: 31.0～5.6kW | | | | | | | |
| | | 付属品: 標準付属品一式 | | | | | | | |
| HWT-1 | 貯湯タンク/ﾎﾟﾝﾌﾟ | 仕 様: 集熱パネル・タンク分離式,強制循環式 | 1 | 100 | 1300 | ﾌﾟﾗｸﾞ | 2 | 研修棟 | 参考品番: |
| SHP-1 | 太陽熱集熱パネル | 貯湯容量: 300L | - | - | --- | | 6 | 研修棟屋根 | FUJI-SP(FUJISOL) |
| | | 付属品: 混合弁×1、温圧弁×2、ワークステーション×1 | | | | | | | |
| | | ｺﾝﾄﾛｰﾗｰ×1、膨張ﾀﾝｸ8L×1、壁掛け収納箱×1 | | | | | | | |
| | | 空気抜き弁×1、その他設置用部品 | | | | | | | |

※機器の固定については各仕様書に記載された告示対応の固定方法により据え付けるものとする。

材料支給

N

愛農学園農業高等学校女子研修宿泊施設新築工事 2025.04.25

給排水衛生設備屋根伏図2 1/150(A3)

給排水衛生設備機器表

M-09

野沢建築工房・スタジオノラ設計共同体
野沢正光建築工房 〒156-0051 東京都世田谷区宮坂3-14-15 イーストウィング102
一級建築士登録:第347921 石黒健太 一級建築士事務所東京都知事登録:第15618

# 工事中の注意事項

- 安全第一で施工すること
  埋設物等に注意して独自に事前調査を行った上で安全な施工計画とすること

- 生徒や職員、生き物に十分配慮し、学校の生活スケジュールにあわせて施工計画を作成すること

# 現場進行中の協議

- 木部のオイル塗装や家具等の部分的な製作など、可能な範囲で生徒が建設に関われるよう協力すること

- 専門的な内容を除き女子生徒との意見交換をしたうえで各部の仕上げ材や色などの詳細を決定する

# ケヤキ材など支給品の活用

- 学校敷地に残置してある木材等を可能な限り本工事に活用できるよう工夫したい

- 在庫状況を確認し、提案を含めてストックの活用に協力すること（現地にて確認）

# コスト管理・VE案の提案

- 事業予算オーバーで落札となった場合はコスト調整のための設計変更に協力すること

- 本工事におけるVE案を入札時に精算見積書と一緒に提出すること（工事項目や提案の内容は不問）
  Ex.)物流効率化、家具工事or大工工事、材料の共通化、部材のプレファブ化、工区分け、愛農材の活用など
- 提出資料は入札額に差が出なかった場合の落札者選考の参考資料として活用する
- 提出資料は様式は問わないが、原設計からどれほどの減額代になりうるのかわかるように作成すること